

平成30年度を迎えてのご挨拶



平成29年4月から久留米大学病院長を拝命し、1年が経過しました。平成29年度中は久留米大学病院に多大なるご厚情を賜り誠に有難うございました。当院の医療連携センターは渡邊 浩センター長（副院長）を中心に地域医療機関との連携を通じ、患者さんのご紹介の迅速かつ正確な運用に努めてまいりました。実際には、患者さんをご紹介いただくにあたり、FAX中心のご紹介方法から電話予約システムの導入を図り、速やかな情報の伝達を行い、ご不便をおかけしないよう努めてまいりました。私自身、副院長時代の4年間に診療情報センター、薬剤部、栄養部、高額医療機器選定委員会、内視鏡手術センター、病院倫理委員会を担当してまいりましたが、今後、地域医療構想、新専門医制度など医療環境の急激な変化にいち早く対応するため、特定機能病院として、より一層、地域の医療機関の先生方との意見交換を積極的かつ速やかに遂行し、協力体制を強化できるように積極的に行動していきたいと考えております。更に、昨今の厳しい医療情勢下ではありますが、質の高さに裏打ちされた最先端の医療をより多くの患者さんに提供するために、院内外で継続的に改革を進めていく所存でありますので、今後ともご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

平成30年4月

病院長

八木 実

病院執行部体制

病 院 長	八木 実
病院長特別補佐	志波 直人
副 院 長	上野 高史
	鳥村 拓司
	田中 芳明
	渡邊 浩
	福本 義弘
	高須 修
	上野 知昭

私たちの理念

人と地球にやさしい、いのち生命を慈しむ医療

私たちのめざす医療

1. 患者中心の医療
生命の尊さにもとづき、患者や家族の権利を尊重し、心のかよう医療を行います。
2. 共生の医療
地球環境にやさしい共生の医療をめざします。
3. 高度で安全なチーム医療
安全性を確保し、高度で専門的なチーム医療の確立をめざします。
4. 地域と共に歩む医療
地域医療機関との連携を密にした、継続性のある医療を行います。
5. 優れた医療人の育成
教育機関として高水準の医療技術と思いやりを備えた医療人の育成に努めます。

TOPICS

母体血胎児染色体検査の紹介

母体血胎児染色体検査（NIPT）は、妊婦さんの血液から赤ちゃんの染色体疾患を診断するものです。当院では平成26年9月に開始し、既に100名以上の妊婦さんに対して検査を実施いたしました。

これまで、赤ちゃんの染色体検査を行う唯一の方法は羊水検査でした。しかしながら、羊水検査では妊婦さんのお腹に針を刺して羊水を採取するため、頻度は少ないもの（およそ0.3%）の流産等の合併症があります。NIPTでは、通常の血液検査と同じように採血のみで済みますので、検査に伴う流産のリスクがありません。一方、NIPTでわかるものは、染色体疾患のうち、トリソミー21（ダウン症候群）、18、13の3種類に限られます。これらの染色体疾患は、以下に示す4つの場合のいずれかを満たす妊婦さんの赤ちゃんに比較的高い頻度で発症することが分かっています。従って、NIPTを受けることのできる対象者は現在この4つのうちいずれかを満たす妊婦さんに限られています。NIPTの検査精度は非常に高いものの、確定的検査ではないため、検査で陽性となった場合（およそ1%）、確定診断のための羊水検査が必要です。



NIPTの対象者は以下のような妊婦さんです。

妊娠10～14週、単胎あるいは双胎妊娠で、

- 1) 分娩予定日の母体年齢が35歳以上である。
- 2) トリソミー21、18、13の染色体疾患の赤ちゃんの出産（あるいは妊娠）をしたことがある。
- 3) 超音波検査で赤ちゃんのトリソミー21、18、13が強く疑われる。
- 4) ご本人あるいは夫（パートナー）が21、18、13番染色体転座保因者である。

検査を希望される妊婦さんは、直接当院に申し込むのではなく、現在かかりつけの病院の先生から紹介していただく形で受け付けております。検査にあたっては、夫（パートナー）と事前のカウンセリングをお受けいただく必要があります。

詳しくは、病院ホームページ (<http://www.hosp.kurume-u.ac.jp/medical/obste.html>) をご覧下さい。

CLICK!



久留米大学病院産科、遺伝診療部
教授 吉里 俊幸

病院北館落成

2016年11月に着工した病院北館（総合複合棟・放射線腫瘍センター）の工事が完了し、2018年3月7日㈓に落成式を執り行いました。5階建ての病院北館（総合複合棟・放射線腫瘍センター）は、1階に放射線腫瘍センター、2階に臨床研修センター、3・4・5階に医局やスタッフ室などを配置します。両館とも、現在は機器の搬入等が進められており、4月から順次運用を開始していく予定です。（放射線腫瘍センターは10月から運用開始予定）



新任診療部長紹介

平成30年2月1日就任



教授

田尻 祐司

1. 出身大学 (卒業年)
2. 専門の臨床領域
3. ご挨拶

内分泌代謝内科

1. 九州大学 (昭和59年卒)
2. 糖尿病、肥満
3. 平成28年度にはわが国の糖尿病患者数は1,000万人と推計され、今後もさらに増加すると予想されます。糖尿病の合併症は古典的な細小血管障害や動脈硬化だけではなく、最近では骨粗鬆症、癌、認知症、歯周病、サルコペニアなどが問題となっています。従って様々な診療科や地域の先生方との連携を図りながら、質の高い包括的な糖尿病診療を実践して行きたいと考えております。また、昨今問題となっている高度肥満症に対する外科手術を含めた治療にも取り組んで行く所存です。今後とも末長くよろしくお願い申し上げます。

紹介予約センター電話対応を拡大します !!

医療機関の先生方、医療連携ご担当の皆様におかれましては、いつも紹介予約センターをご利用いただき、お礼申し上げます。

平成30年4月2日より循環器病センターの一部専門分野で、お電話での直接予約が可能となりました。

【新たにお電話でも直接予約可能となった診療科】

循環器病センター：心臓・血管外科（心臓グループおよび血管グループ）

※午前の診療となり、新患枠の医師が担当いたします。なお、心臓・血管外科以外の循環器病センターの専門分野につきましては従来通りFAXにてご予約をお受けしております。

〈お知らせ〉

【新たに患者さんから直接予約可能となる診療科】

泌尿器科・歯科口腔医療センター・神経内科・腎臓内科・膠原病

（実際の開始時期につきまして5月7日としておりますが、詳細につきましては別途お知らせいたします。）

久留米大学病院紹介予約センター

電 話：0800-200-4897（フリーダイヤル）

0942-27-5673（携帯・PHS）

F A X：0800-200-9489



平成30年度 医療連携センター スタッフ紹介

患者さんと医療機関の皆様のお力になれるよう がんばります!!

連携事務担当 (事務室長1名、事務8名)

- ◆連携業務に関する情報提供・広報活動
- ◆紹介・逆紹介データ管理
- ◆関連医療機関連絡調整
- ◆入退院患者支援業務
- ◆紹介患者の外来診療予約(紹介予約センター)



前列左より
青山陵子、牟田 薫(事務室長)、古賀美早紀、鹿毛 巖
二列目左より
中島理世、山口みき、大塚久美子、松隈美紀、
池松友里那

ベッドコントロール担当

(副看護部長1名、看護師7名)

- ◆病床管理
入退院状況把握・急患受入対応
- ◆入退院患者支援業務



前列左より
黒田明子(NS)、古賀真由美(副看護部長)
深川千寿子(NS)、川邊佳子(NS)
二列目左より
赤尾優香(NS)、東しおり(NS)、吉原真由美(NS)
藤澤さゆり(NS)

退院支援・医療福祉相談担当

(看護師5名、MSW6名)

- ◆退院支援(在宅・転院)
- ◆社会資源紹介、患者受診・受療援助
- ◆経済的・心理的・社会的問題等の解決援助
- ◆院内外からの医療相談



前列左より
交口慶子(NS)、野中公美子(NS)、青木正恵(MSW)
中村寿賀子(NS)
二列目左より
今給黎陽(MSW)、北原和美(NS)、住吉美香(MSW)
神代 潤(MSW)、川口真理(NS)、大里文誉(MSW)、花島りか(MSW)

【がん相談支援センター】(看護師2名)

- ◆がん相談、セカンドオピニオン外来調整

【認知症医療センター】(PSW1名)

- ◆認知症に関する相談支援



左より
原 美穂(NS)、廣畑紀世(NS)、轟久裕貴(PSW)

今年度も引き続き、よろしくお願いいたします。